

ウポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年1月19日
北海道開発局

受賞団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第11回コンクールの優秀賞12団体、奨励賞18団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールを開催し、選考の結果、**全道63団体（56市町村）の応募の中から、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することを決定**しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から、2年に1度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞12団体、奨励賞18団体）を表彰します。

なお、**優秀賞の中から、来年度（令和6年度）の大賞審査により、第11回コンクールの大賞を決定**します。

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1 「わが村は美しくー北海道」運動の概要について | 【別紙1】 |
| 2 第11回コンクールの概要について | 【別紙2】 |
| 3 受賞団体の活動概要について | 【別紙3】 |

本日、受賞団体が所在する各開発建設部においても、受賞団体及びその活動内容を報道発表しています。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 伊原 陽一（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村振興第2係長 田場 一矢（内線 5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



「わが村は美しく —北海道」運動 とは？



Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



「景観」
の形成

【景観】
地域の特色を活かし、生活と生産
に根ざした景観形成活動

【人の交流】
地域の魅力を高めるコミュニティ
づくりに結びつく都市及び地域内
外の人たちとの交流活動

活発な
「人の交流」
づくり



魅力ある活力に満ちた 北海道

「地域特産物」
のブランド化



【地域特産物】
地域で生産される農林水産物及び
それらを主として利用した加工品
の生産販売活動

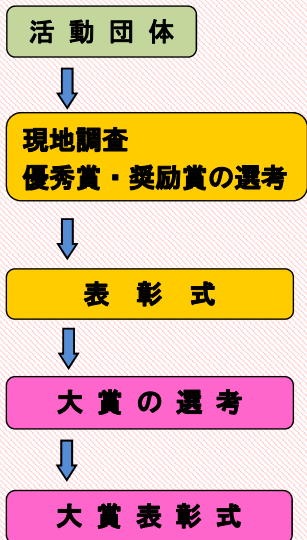
- **参加しよう—中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げよう—活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えよう—北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています



第10回コンクール 大賞受賞団体

R5年度



北のなのはな会【安平町】

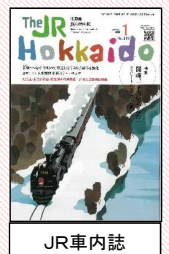
R6年度



ほんべつ豆まかナイト
実行委員会【本別町】

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/na/nou_ein/ud49g700000emhm.html
→ 活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→ 活動団体への情報提供
→ 活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→ 「The JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→ 地域イベントに参加し
団体活動を紹介
- パネル展でPR
(北洋銀行との連携)
- Facebook(フェイスブック)の取組
→ 活動団体の最新情報を広く発信



JR車内誌



札幌大通でのパネル展

Facebookはこちらの
QRコードからご覧頂けます。





令和6年1月19日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールの受賞団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成13年から2年に1度コンクールを開催しており、今回で11回目となります。

第11回コンクールには全道から63件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、受賞団体の応募先である各開発建設部において行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問い合わせください。

○第11回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道56市町村から63件（団体）の応募

(2) 審査経過

▶令和5年1月～令和5年6月：募集

▶令和5年7月～10月：全道10ブロック※での現地調査
（ブロック審査委員会による全応募団体の調査）

▶令和5年7月～11月：ブロック審査委員会での審査
（現地調査の結果から受賞団体を選考）

※各開発建設部の所管を1ブロックとしている。

2. 受賞団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰） [12団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- ▶ 元気村・夢の農村塾（深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町）
- ▶ にじいろファーム（七飯町）
- ▶ 美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）
- ▶ 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- ▶ ニサナイ大地の会（むかわ町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- ▶ 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- ▶ フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- ▶ 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園（稚内市）
（受賞団体名は順不同です）

【別紙2】

(2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰） [18 団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

◇札幌ブロック [3 団体]

- ・沼田町産直グループ 愛菜ママ（沼田町）
- ・疏水ほっかい愛護連絡協議会（岩見沢市）
- ・一般社団法人 恵庭青年会議所（えにわハッピーハロウィン実行委員会）
（恵庭市）

◇函館ブロック [2 団体]

- ・ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
- ・一般社団法人 福島町まちづくり工房（福島町）

◇小樽ブロック [1 団体]

- ・しりべし女子会（後志管内）

◇旭川ブロック [2 団体]

- ・辰巳農園（上川町）
- ・JA ふらの女性大学（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）

◇室蘭ブロック [2 団体]

- ・壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）
- ・合同会社 自然農業社（壮瞥町）

◇釧路ブロック [1 団体]

- ・みんなの景観なかしべつプロジェクト（中標津町）

◇帯広ブロック [3 団体]

- ・株式会社 地恵贈（池田町）
- ・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）
- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

◇網走ブロック [2 団体]

- ・株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ（滝上町）
- ・つべつ豆のわ！！プロジェクト（津別町）

◇留萌ブロック [1 団体]

- ・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、幌延町、遠別町）

◇稚内ブロック [1 団体]

- ・北海道豊富高等学校ボランティア部（豊富町）

（受賞団体名は順不同です）

受賞団体の活動概要(優秀賞) [12団体]

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
札幌	特定非営利活動法人 山のない北村の輝き	岩見沢市	河川環境の維持や植樹活動のほか、農泊やキャンプをしながら収穫などの農作業を体験できる企画のほか、自然景観を堪能できるカヌー体験やガイドによる北村地域の歴史見学を行っており、地域内外での交流を図っている。また、「北村の歴史ガイドブック」や「北村三兄弟物語」といった北村の歴史に関する副読本も作成しており、今後は歴史ガイドツアーへの活用も予定している。
	元気村・夢の農村塾	深川市 妹背牛町 沼田町 北竜町 秩父別町	都市部の人との交流を通して、農業・農村の理解者を増やしたいとの思いから平成14年3月に設立。主に道外の修学旅行生を1泊2日の日程で会員宅に受け入れ、収穫作業や草取り、トラクターの乗車体験など、農業に関する作業体験を実施している。20年間の活動で受入人数は1万7千人以上となっている。将来を担う子供たちに食農教育の場を提供している。
函館	にじいろファーム	七飯町	令和2年に新規就農。地元農家約30軒と協力して山菜、果物などを含めて年間約150種類を販売する直売所を経営する。次世代に農業のすばらしさを伝えるため、修学旅行生の農業体験を受け入れ、地元中学生の職場体験も実施。就労支援事業所と農福連携にも取り組んでいる。
小樽	美国・美しい海づくり協議会 /余別・海HUGくみたい	積丹町	町の基幹産業であるウニの生産は、磯焼けにより生産が減少している。ウニ殻を利用した「ウニと藻場の循環型再生産の取組」を推進し、藻場のブルーカーボン機能による気候変動対策と組み合わせている。また、環境保全と連携した民間企業との取組や、新たな商品開発による産業創設などを推進している。
旭川	名寄市立大学援農ボランティアの会	名寄市	名寄市立大学、JA道北なよろ及び名寄市の三者で設立した名寄市立大学援農ボランティアの会は、従来は長靴等を自ら用意するなどのハードルにより農業アルバイトへの学生の応募が少なかったものを、備品の貸出や就業条件の統一を行い、有償でもボランティアであるとの農家と学生双方の理解を深め、受入農家の丁寧な対応による満足感が生まれるなど、学生の参加を促すための環境作りを行っている。
室蘭	ニサナイ大地の会	むかわ町	地域の花壇整備をはじめ、隣接する道道沿いの農地周辺の草刈りや清掃など地域の美化に取り組むとともに、地域コミュニケーションを図っている。直売所の位置を入れたニサナイマップを作成・配布することにより地域をPRする取組や、エゾフクロウを守るために巣箱を設置する取組も行っている。
釧路	北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班	中標津町	町の基幹産業が農業である一方、町民が農業に良いイメージを持っていないことや後継者不足で農家数が減少している現状を打開するため、幼少期から食の大切さを学び農業が将来の選択肢の1つとなるよう、高校生が先生となり幼稚園から中学生に野菜栽培、牛舎管理等の食農教育を展開している。
帯広	北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会	帯広市	農業高校の生徒が十勝産食材を用いて、高校生初の試みとなる「レトルト」の宇宙日本食開発にJAXAや地元企業と連携して取り組んでいる。今後も成長・拡大が想定される「宇宙産業」において、十勝産食材を使用した宇宙日本食を開発することで、宇宙産業と融合した十勝農業のPRを目指している。
	ピロロツリズム推進協議会	広尾町	広尾町の多様な一次産業と農山漁村空間が織りなす景観を活用した体験型観光の開発と運用、広尾産の食材を活かした特産品の開発とプロモーション、地域ガイドブックの企画と販売など多岐にわたる活動を展開している。特に体験型観光は、町内外の交流人口を増加させるとともに広尾町のPRに繋がっている。
網走	合同会社 びほろ笑顔プロジェクト	美幌町	びほろブランドの発酵調味料「美幌豚醤まるまんま」を使用した加工食品の製造を通じ、原料となるトマト、唐辛子の栽培を、就労型多機能事業所に委託するなど、農福商工連携への取組が広がっている。町内小学校では毎年、製品開発に携わる高校生と地域学習の授業を実施するなど、食育による人の交流にも積極的に関わっている。
留萌	フレッシュ市場「花菜夢」	遠別町	北限の稲作地であり、畑作地である遠別町で育てたおいしい農産物を多くの方に知っていただき、遠別町の農産物をより多くのところで消費していただくことを目的に、直売所「フレッシュ市場 花菜夢」を開設。また、農産物は低農薬で手間隙をかけ大切に育て、その日の朝に収穫した一番おいしい状態で「安全・安心」を基本理念に、農産物を提供し、多くの消費者に受け入れられるよう進めている。
稚内	社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園	稚内市	福祉施設屋内に通年で水耕栽培装置を稼働させる工場を設置し、寒冷地の宗谷では珍しいフリルレタスの栽培を実施。栽培されたフリルレタスは「最北の野菜工場ひかり菜」のブランドで市内スーパー等に出荷され高評価を得るなど農福連携に資する活動を行っている。

受賞団体の活動概要(奨励賞) ~1 [18団体]

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
札幌	沼田町産直グループ 愛菜ママ	沼田町	沼田町の農産物のPRを目標に町内外のお客様の注文を受けて産地直送販売を実施。「消費者へ美味しいものを届けたい」という思いから、町内生産農産物の付加価値として「愛菜みそ」、「キクイモ入り愛菜みそ」の商品開発品の加工・販売を行っている。産地直送品には手書きの「愛菜ママごよみ」や料理レシピを同封し、消費者に野菜の育て方や食べ方などの情報提供を行い産地PRを実施している。
	疏水ほっかい愛護連絡協議会	岩見沢市	全国疏水百選に選定され、北海道農業の一大産地である空知穀倉地帯の農業を支える北海幹線水路の景観保全美化のために平成19年に「疏水ほっかい愛護連絡協議会」を設立。平成19年より、年間5~6回、北海幹線水路沿いの草刈りを会員やほかの参加者も含め毎回100名以上の参加で実施。地域住民の交流と景観保全を継続して行っている。
	一般社団法人 恵庭青年会議所 (えにわハッピーハロウィン実行委員会)	恵庭市	えびすかぼちゃの生産地として知られる恵庭には、かぼちゃを使ったプリンなど様々な特産品があるが、かぼちゃを売りにした地域を盛り上げる事業として「えにわハッピーハロウィン」を2015年から開催している。ハロウィン用かぼちゃを市内に飾って幻想的な風景を生み出して賑わいを創出し、(削除)参加者には栽培しているかぼちゃの雑草取りや収穫といった農業体験、かぼちゃの飾り付け等も行ってもらい、イベントには2万人以上が来場する一大イベントとなっている。
函館	ハコダテフィッシャーマンズ	函館市	漁師が顔を出して漁師の日常を伝え、自分たちのことを知ってもらい、自分たちの捕ったものを自分たちで販売する「フィッシャーマンズマルシェ」を開催。団体・企業等と連携してイベント等を仕掛けている。新幹線で大宮に魚を運んだ「物産展」、水産会社や町会とコラボしたマルシェ、未利用魚に着目した商品化等を展開している。
	一般社団法人福島町まちづくり工房	福島町	南北海道でもっとも予約の取れないアクティビティとして人気の観光小型船の運航をする「岩部クルーズ」や、町内団体と連携して、福島町特産の「真昆布」「アワビ」「黒米」や、有害鳥獣「エゾシカ」を活用した商品の企画開発、販路開拓等に取り組んでいる。
小樽	しりべし女子会	後志管内	会員(しり女)は、管内各地の観光資源を巡り、地域のお祭り、勉強会、交流会に参加して、自分たちが楽しむ姿を発信している。女性目線で、今まで埋もれていた後志の魅力を引き出し、各地のしり女がネットワークを作り、協力して観光案内できる体制を整えるべく活動を行っている。
旭川	辰巳農園	上川町	地域の特産物として、もち米、そば、有機質肥料を使ったスイートコーンなどの農産物の作付や、大豆のコーヒー、納豆、豆腐、ピーズのヨーグルトムースなど多くの加工品の製造を行い、令和5年からは、自家で生産したもち米を使った大福やおこわなどを提供する店舗「もちごやママ」(削除)を営業している。
	JAふらの女性大学	富良野市 上富良野町 中富良野町 南富良野町 占冠村	JAふらの女性大学は学生の約半数が農家以外であり、入学から卒業までの2年間で、JA所有施設の見学・先進農業地域への視察などの営農関係の活動から、田んぼアート鑑賞や陶芸教室などの文化関係の活動まで、女性部役員が企画・運営段階から携わり、実施(10回程度/2年)している。
室蘭	壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合	壮瞥町	温泉熱を利用した施設野菜の生産を行い、栽培管理方法の統一、共選の一元集出荷により安定供給と省エネルギー化を推進している。「オロフレトマト」は、害虫の少ない冬期間に栽培され、通常の栽培より農薬を減らしている。化石燃料を使わないクリーン農業を通じたブランド化を図ると同時に、カーボンニュートラルに寄与している。
	合同会社 自然農業社	壮瞥町	野菜、豆類を有機農法により生産し、自然の生態系を活かした農業を目指して周辺の環境景観に配慮するとともに、障がいのある方々の自立を支援することにより農福連携を実践している。また、生産した農産物の加工販売など6次産業化の取組で冬期間の作業を創出し「自然農業社」ブランドとして販売している。
釧路	みんなの景観なかしべつプロジェクト	中標津町	町の風土に調和した良好な景観を形成し後世に引き継ぐため、景観を理解し、守り、育て、整え景観まちづくりへの寄与を目的に、「町民・地域・活動団体・町との協働や連携した活動」を進めるとともに、景観まちづくりの推進、調査分析、公的又は民間への支援、ネットワークの形成、景観学習などを実施している。

受賞団体の活動概要(奨励賞) ～2

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
帯広	株式会社 地恵贈	池田町	自社農場で生産する農産物を手作業で加工して販売する「6次産業化」の取組に早くから着手し、製品は町内外の販売店や飲食店から高く評価されるなど、町の地域特産物としての地位を確立している。また、町内各種イベントでの出店販売や食育活動にも積極的に取り組み、町の観光PRにも貢献している。
	北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班	本別町	本別町の特産物である「豆」の新たな魅力を探求課題として豆成分を分析し、豆を使った食べ物以外の商品として「豆乳クレンジングジェル」を企業のほか、町内の農家やJA婦人部とも調整しながら開発した。「豆」を使った新たな地域特産物として町のPRにも繋がる活動を展開している。
	北海道士幌高等学校 乳加工専攻班	士幌町	士幌高校産の生乳と士幌産の大豆を原料にした“きな粉”を使用した ティラミス風のスイーツ「キナミス」を開発した。商品開発の一方で、同校が製造しているヨーグルトの町内小中学校給食への提供、道の駅でのイベント出品など乳製品加工を通じた地域活性化とともに低迷している乳製品の消費拡大にも貢献している。
網走	株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ	滝上町	滝上町の稀少な和ハッカ栽培の伝統を継承するために、栽培農家が中心メンバーとなって地元で栽培された和ハッカから天然の虫除けスプレーや、アロマオイルなどを製品化し、販売している。また、ハッカの魅力を発信するため、和ハッカの蒸留作業や実際に栽培している畑の見学ツアー等を行い人の交流を図っている。
	つべつ豆のわ！！プロジェクト	津別町	津別町の相生地域で、農家の女性たちが長年にわたり続けてきた「手作りあいおい味噌」の食文化を引き継ぐために、福祉関連団体と地域の農業者やボランティアの町民ら様々な関係者の協力により、味噌の原材料である稀少な青大豆の栽培から味噌づくりまでを協働で行っている。
留萌	乳製品加工研究会「美留来のゆめ」	天塩町 幌延町 遠別町	天塩町、遠別町及び幌延町に在住する農業女性7人が所属しており、自家製生乳を使ってモッツァレラチーズやゴーダチーズ、アイスクリームのほか、生乳を使ったパスタ料理などを作る活動を行っている。また、乳製品加工技術の習得や牛乳・乳製品を使用した料理を家庭で楽しむ取り組みを推進している。若手メンバーの加入などにより、会の活性化や世代交代を図り、加工技術の継承、女性リーダーの育成にも努めている。
稚内	北海道豊富高等学校ボランティア部	豊富町	豊富町の特産品である牛乳、乳製品を活用した料理や季節のおやつ作り、高校近くのサイクリングロードのゴミ拾い、サロベツ国立公園の保護活動のボランティア、地域のお祭りの出店のお手伝いなど、地域に根ざした活動を行っている。